CASE STUDY

サービス
オールインワン LED ディスプレイ

Panasonic

ベゼルのないLEDディスプレイで、臨場感あふれる大画面映像を実現。



パナソニック コネクト株式会社
Customer Experience Center

導入地域：関東
導入期間：2026年3月

課題

液晶ディスプレイを連結した映像表示では、ベゼルによってコンテンツが分断されて見える

解決策

137型のオールインワンLEDディスプレイを4台組み合わせ、一体感のある大画面映像を実現※

“映像がひと続きにつながり、期待以上の迫力で表現されていて感動しました。”

パナソニック コネクト株式会社
デザイン＆マーケティング本部
コーポレートコミュニケーション部 CXC課
林 謙一 氏

所属は取材時のものです。

背景

体験の始まりとなるエントランスでワクワク感を演出

パナソニック コネクト株式会社が東京・汐留に構える本社ビルには、B2B事業における最新技術・ソリューションが体験可能な共創の場「Customer Experience Center」が設けられています。エントランスには全長約11 mの大型ビジョンが設置されており、来館されたお客様をダイナミックな映像でお迎えします。大型ビジョンには、これまで11台の80型液晶ディスプレイが活用されていましたが、2026年春のリニューアルにともないLEDディスプレイへ刷新。より一体感のある映像表現を可能にしました。

導入した理由

最新ソリューションを扱う共創の場で、新たな映像体験を

エントランスのリニューアルを担当したパナソニック コネクト株式会社の林氏は次のように語ります。

「当初は、別の液晶ディスプレイにリプレイスする案や、プロジェクターに置き換える案も出ていました。しかし、最新の映像表示技術をお客様にご覧いただきたかったため、ADシリーズの発売を機にLEDディスプレイの導入を決定しました。また、液晶ディスプレイの頃はベゼルによってコンテンツの連続性が損なわれ、臨場感に欠けると感じる場面もありました。LEDディスプレイはベゼルがなく、複数台で構成してもシームレスな映像表示が可能なため、エントランスからワクワク感をお届けしたいという私たちの意向にマッチしていました」

お客様の経営課題解決の起点に

「Customer Experience Center」は、1.プレゼンテーションエリア、2.展示エリア、3.共創エリアという3つのゾーンで構成され、"エバンジェリスト"と呼ばれる、その道に精通したスペシャリストとのディスカッション・ワークショップや最新ソリューション・先進技術をご見学、ご体験いただける共創の場です。

- 所在地：東京都中央区銀座8丁目21番1号
- 見学方法：パナソニック コネクトの社員を通じた事前予約制





サービス

オールインワン LED ディスプレイ



▲ 来館後すぐに全長約11 mの大型映像を体験することで、期待感が高まる演出に



▲ 137型のオールインワンLEDディスプレイを4台組み合わせて構成※

導入後の効果

ベゼルのない映像が一層の驚きと期待感を醸成

LEDディスプレイを導入した効果について林氏は話します。
「やはりベゼルがなくなったことが最も大きな変化で、以前とは臨場感が異なります。この施設は、“非日常体験”をすることでお客様に解放感を味わっていただき、最後の『共創エリア』に着いた時、通常の会議室では生まれないような新たなディスカッションを生み出すという狙いがあります。エントランスで驚きを提供することは、そういった施設全体のコンセプトの実現につながっていると思います。お客様からの反応も良く、このLEDディスプレイをご覧になるために来館されたお客様もいらっしゃいました。実際にご覧になり、『ここにジンベエザメが泳ぎ回るような広大な海の世界を表現してみたい』と仰って、お聞きした私たちも一緒になって盛り上がったのを覚えています」

メンテナンス工数が減り、将来的な運用効率が向上

「LEDディスプレイはフロントメンテナンスが可能なため、万が一の際にも効率的に復旧できることは魅力の一つだと思います。液晶ディスプレイの頃は、1台故障すると11面のうち1面が映らなくなり、交換の工事にも数日を要するといった課題がありました。LEDディスプレイなら細かなモジュール単位での交換が可能で、ディスプレイの裏側に回ることなく前面から作業できるため、長期的に見て安心感がありますね」

今後の展望

これからも、お客様にさらなる驚きをお届けしていきたい

「今回、LEDディスプレイにしたことで、狙い通りの演出を実現することができました。現在は、お客様のお名前とともにウェルカムメッセージを表示するといった演出を行っていますが、今後は、例えばお客様の動きに合わせて映像も移動するなど、インタラクティブな仕掛けも追加していけたらと考えています。これからも、お客様にさらなる驚きをお届けできる空間づくりを追求していきたいと思います」



▲ ベゼルで文字が隠れることなく、文字や映像をひと続きに表示可能

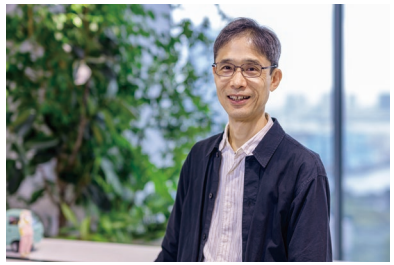


▲ バックヤードの電源ボックス（左）とコントロールボックス（右奥）

■ リプレイス前の液晶ディスプレイ



▲ リプレイス前は80型の液晶ディスプレイ11台で構成。ベゼルにより各ディスプレイ間に約5 cmの縦線が生まれ、映像表現の妨げとなっていた



パナソニック コネクト株式会社
デザイン&マーケティング本部
コーポレートコミュニケーション部
CXC課
林 謙一 氏

所属は取材時のものです。

納入機器



オールインワンLEDディスプレイ
ADシリーズ
TL-137AD15AJ（137型）×4台

ADシリーズは、ディスプレイパネルやコントロールボックス、電源ボックス、設置金具がセットになった、映像表示に必要な機器が一体化されているオールインワンタイプのLEDディスプレイです。

※本事例は設置場所に合わせた特別な構成・施工を行っています。複数台の組み合わせや設置方法については、事前にパナソニック業務用ディスプレイサポートセンターへお問い合わせください。
https://lp.jpn.biz.panasonic.com/prodisplays-inquiry-form.html

Panasonic

発行： パナソニック プロジェクター＆ディスプレイ株式会社
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

その他の納入事例に関しては、ホームページをご覧ください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays

2026.10.UN
CT26-J01-FP11-CXC